

ユーザーズガイド(第 1 版)

本書を熟読し、大切に保管してください。

構成品一覧表

本製品には以下のものが添付されています。確認してください。

品名	数量	備考
LOM カード	1	
保証書	1	組込出荷時は添付されません。 本体装置の保証書に記載されます。
安全にお使いいただくために	1	

※本製品を本体装置に組み込んでお買い求めいただいた場合、本体装置に添付された保証書が本製品の保証書を兼ねます。本体装置の保証書に本製品の記載があるかご確認ください。

目次

使用上のご注意 -必ずお読みください-	3
安全にかかわる表示について	3
本書で使用する記号とその内容	4
安全上のご注意	5
はじめに	9
本書について	9
本文中の記号について	9
1. 本製品について	10
1.1. 特徴	10
1.2. 各部の名称と機能	11
2. 本体装置への取り付けと取り外し	13
3. ドライバー/ファームウェアのセットアップ	15
4. トラブルシューティング	17
4.1. システムが起動できない場合	17
4.2. ネットワークに接続できない場合	18
5. 本製品の運用における注意事項	19
5.1. サポート機能に関する注意事項	19
5.2. BIOS/RBSU 設定に関する注意事項	19
5.3. 表示に関する注意事項	19
5.4. Wake On LAN 利用時の注意事項	20
6. 仕様	21
6.1. 製品仕様	21
6.2. ケーブルについて	21

商標について

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

Intel®は、米国 Intel Corporation の登録商標です。

Broadcom は、Broadcom Inc.および／またはその子会社の米国およびその他の国における商標です。

Hewlett Packard Enterprise®および HPE®は、米国 Hewlett Packard Enterprise Development LP の米国およびその他の国における登録商標です。

PCI Express®は、PCI-SIG の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、またはその他のマイクロソフトの製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Red Hat®、Red Hat® Enterprise Linux®は、米国 Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux®は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標です。

VMware is a registered trademark or trademark of Broadcom in the United States and other countries. The term “Broadcom” refers to Broadcom Inc. and/or its subsidiaries.

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換等を行うことは、禁止されています。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一お気付きの点や、ご不明の点がありましたら、販売店または弊社までご連絡ください。
4. 本製品を運用した結果の影響については、上記 3 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
5. 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されております。本体装置の取り扱いや、各種 OS の操作、その他一般的かつ、基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください。

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可なく、本書の複製・改変などを行うことはできません。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。



使用上のご注意

-必ずお読みください-

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。

本書では装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。

それぞれの用語は次の意味を持つものとして定義しています。



“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。

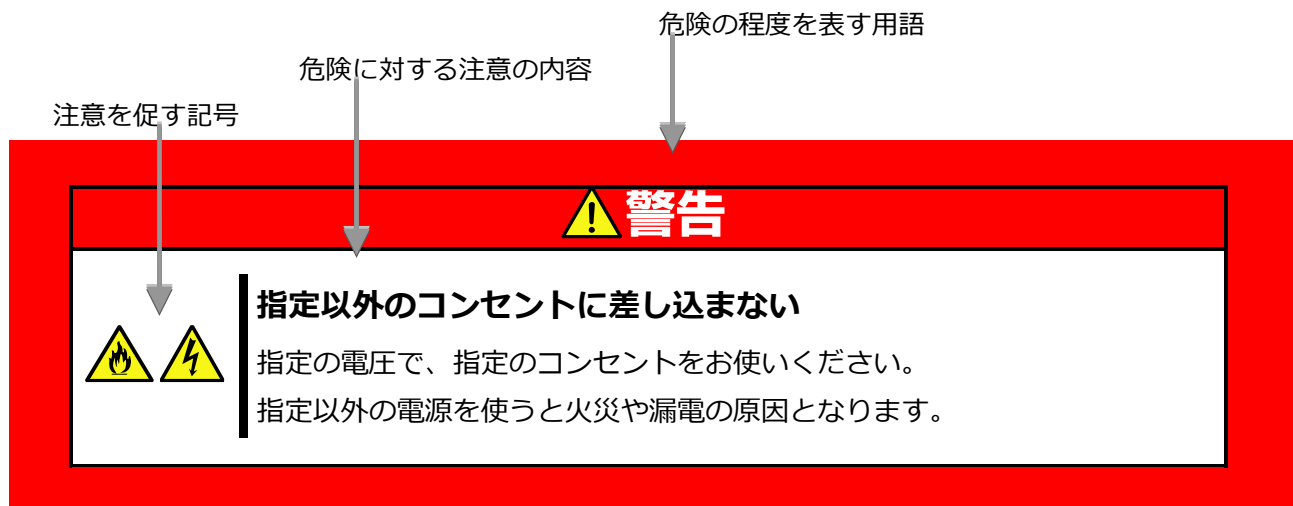


“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが予想されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

- *1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- *2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- *3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義しています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	 (例) (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない内容を図案化したものです。	 (例) (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためには、この行為が必要です。	 (例) (プラグを抜け)



本書で使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意。警告を示します。		レーザー光による傷害を負うおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		指先をけがするおそれがあることを示します。

行為の禁止

	本製品を分解、修理、改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水に濡らすと感電や発火のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。		

行為の強制

	本体装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
---	---

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んで理解し、安全に使用してください。
記号の説明については「安全にかかわる表示について」（3 ページ）の説明を参照してください。

一般的な注意事項

警告



人命にかかわる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命にかかわる設備および高度な信頼性を必要とする設備などには使用しないでください。これらの設備に本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。



煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、直ちに装置の電源を OFF にした後、本体装置の電源コードをコンセントから取り外してください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



針金や金属片を差し込まない

カードに金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



消毒液が付着した手指で取り扱わない

装置の操作やオプション製品の取り付け／取り外しは、消毒液が手指に付着した状態で行わないでください。消毒液が本製品に付着することにより腐食、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

注意



カードに水や異物を入れない

カードに水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源コードをコンセントから抜いてください。分解しないで、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意

指定以外のインターフェイスケーブルを使用しない

インターフェイスケーブルは、適合するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インターフェイスケーブルの取り扱いや接続について、次の注意をお守りください。



- 破損したケーブルコネクタを使用しない
- ケーブルを踏まない
- ケーブルの上にものを載せない
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない
- 破損したケーブルを使用しない

適合するケーブルについては「6.2 ケーブルについて」(21 ページ) を参照してください。

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置・使用しないでください。



また、ほこりや空气中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

廃棄・譲渡に関する注意事項



- 本製品を廃棄する場合は各自治体の条例に従ってください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。
- 本製品を他人に譲渡する場合は、本書および添付品すべてを必ず一緒に渡してください。

取扱注意事項

警告



分解・修理・改造はしない

本製品を分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。
感電や火災の危険があります。



本体装置の電源コードを抜く

本体装置への取り付け／取り外しをするときには、必ず電源コードをコンセントから外してください。感電するおそれがあります。

注意



高温に注意する

本体装置の電源を OFF にした直後は、装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け／取り外しを行ってください。



人体から静電気を放電してから取り扱う

静電気による部品の破壊を防ぐため、カードに触れる前には、必ず人体から静電気を放電してください。



カード上で塗装されていない金属部分には触れない

カードの通信ポートや、各部品の端子部、およびカード上で塗装されていない金属部分には、決して触れないでください。汚れや腐食等により、接触不良が発生するおそれがあります。また、濡れた手や汚れた手で触れないでください。



カードを無理に挿入しない

カードを本体装置に搭載する際は、無理に挿入しないでください。その際、カードおよび本体装置を破損するおそれがあります。



ケーブルは確実に接続する

ケーブル接続時は、カチッという音がするまでケーブルコネクタを挿入してください。

静電気対策について

製品の取り付け／取り外しについて

準備確認事項

- 
- (1) 危険防止および故障防止のため作業を行う際には、本体装置の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、ホットスワップ（活線挿抜）対象製品の取り付け／取り外し時の電源スイッチのOFFおよび電源プラグのコンセントからの取り外しは除きます。
 - (2) 本製品は静電気に弱い電子部品で構成されています。製品の取り付け／取り外しの際は、静電気による製品の故障を防止するため静電気対策用リストストラップなどの装着により静電気を除去してください。また、リストストラップを使用する場合は、接地された箇所に接続して使用してください。

(3) ケーブルの取り扱い

LANケーブル等のケーブルを接続する場合も床面との摩擦によって静電気が帯電することがあります。帯電した状態でネットワーク機器に接続すると機器を破壊することがありますので接続する前には除電キット等を使用して除電することを推奨します。

注） 静電気除電キットについて

下記の静電気除電キットについては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。

品名：LANケーブル除電治具

型名：SG001 （東京下田工業（株）製）

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、安全に使用できるようにするための手引きです。製品のセットアップを行うときや製品の取り扱いがわからないときなどにご利用ください。

本書は常に製品のそばに置いて、いつでも見られるようにしてください。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号のほかに、3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解のうえ、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や、特に注意すべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作するうえで、確認しておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役立つ情報や、便利なことを示します。

1. 本製品について

1.1. 特徴

N8104-226 1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)は、下記装置に対応する LOM カードです。

(2026 年 8 月時点)

- Express5800/R120k-1M
- Express5800/R120k-2M
- Express5800/R110m-1M

本製品の取り付けに関する詳細は、本体装置のユーザーズガイドに記載されている LOM カードの取り付け方法を参照してください。ユーザーズガイドは、本体装置に添付の「スタートアップガイド」を参照し、検索してください。

本製品は 1000BASE-T に対応した RJ-45 ポートを 4 基備えています。この通信ポートを通して通信を行います。



重要

- **弊社が指定する本体装置以外には搭載しないでください。**
接続可能な本体装置は、本製品を購入された販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。



チェック

- **本製品を取り付ける前に、本体装置のユーザーズガイドを参照してください。**
- **2.5Gbps は未サポートです。**

1.2. 各部の名称と機能

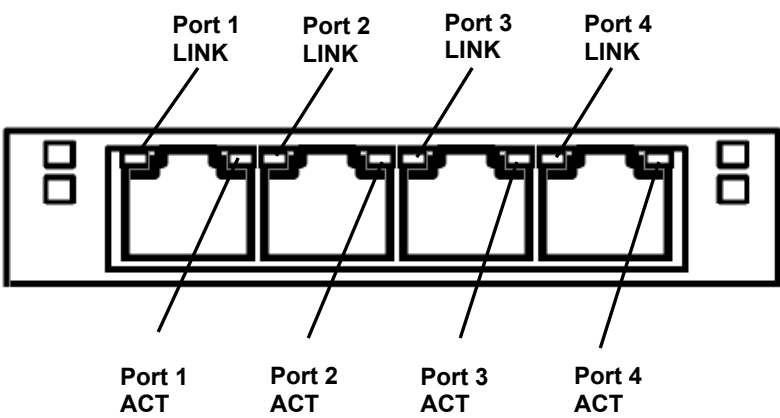
本製品の各部の名称とランプ表示については次ページ以降で説明します。

各部の機能については次のとおりです。

- **LAN ポート**
ネットワークに接続するための RJ-45 形状のコネクタです。接続可能なケーブルは「6.2.ケーブルについて」(21 ページ)を参照してください。
- **PCI Express®規格**
PCI Express 規格に準拠しています。論理接続レーン数は次のとおりです。

型番	準拠規格	論理レーン数
N8104-226	PCI Express 4.0	x8 via x4 x4 PCI Express® link subdivision (bifurcation)

N8104-226



ランプ	状態	意味
LINK	点灯(橙)	1Gbps または 100Mbps でリンクが確立しています。
	消灯	リンクパートナーと正常に接続できていません。(リンクダウン)
ACT	点灯(緑)	通信待機状態であることを示します。
	点滅(緑)	データの送受信があることを示します。



本製品の LINK ランプは 1Gbps/100Mbps で橙色に点灯しますが、さらに接続速度を判別するためには、本体装置での OS 上でのリンク情報、またはリンクパートナー(ハブ装置等)の速度表示を参照してください。

2. 本体装置への取り付けと取り外し

本製品の取り付け／取り外し作業については、本体装置のユーザズガイドを参照して作業してください。



- 必ず本体装置のユーザズガイドを参照して、本製品の取り付け／取り外しを行ってください。
- トップカバーを外す際は、先にケーブルを外してください。ケーブルを破損することがあります。



本製品を搭載・増設する場合は以下の条件を確認してください。

- OCP Slot のリンク幅を x16 レーンにするケーブルを接続してください。
- 本体装置の iLO7 ファームウェアバージョン 1.21 以降にしてください。
- 本製品の取り付けを行った後、本体装置起動時に下記の設定項目が[No Bifurcation]、または[Bifurcate]となっている場合、本製品を搭載している OCP Slot に対して[Dual Bifurcate]の設定を実施してください。なお本設定はシステム ROM バージョン 1.60 以降が適用された本体装置では、自動で設定されます。

「System Utilities > System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU)
> PCIe Device Configuration > Advanced PCIe Configuration
> PCIe Bifurcation Options > OCP Slot X Bifurcation」
(X には Slot 名の A か B が入ります。)

警告



本体装置の電源コードを抜く

本体装置への取り付け／取り外しをするときには、必ず電源コードをコンセントから外してください。感電するおそれがあります。

注意



高温に注意する

本体装置の電源を OFF にした直後は、装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け／取り外しを行ってください。



人体から静電気を放電してから取り扱う

静電気による部品の破壊を防ぐため、カードに触れる前には、必ず人体から静電気を放電してください。



カード上で塗装されていない金属部分には触れない

カードの通信ポートや、各部品の端子部、およびカード上で塗装されていない金属部分には、決して触れないでください。汚れや腐食等により、接触不良が発生するおそれがあります。また、濡れた手や汚れた手で触れないでください。



カードを無理に挿入しない

カードを本体装置に搭載する際は、無理に挿入しないでください。その際、カードおよび本体装置を破損するおそれがあります。



ケーブルは確実に接続する

ケーブル接続時は、カチッという音がするまでケーブルコネクタを挿入してください。

3. ドライバー/ファームウェアのセットアップ

本製品には、出荷時点の最新版のドライバー/ファームウェアが適用されています。そのため、すでに運用されているシステム環境に増設する場合は、本製品のドライバー/ファームウェアを更新してからお使いいただく必要があります。また、システム環境に適用されている Starter Pack のバージョンによっては、本製品に最適なファームウェアが収録されていない場合もあります。

本製品のドライバー/ファームウェアは本体装置の Starter Pack に収録されています(ドライバーは Windows/Linux のみ収録)。Starter Pack を適用することでドライバー/ファームウェアが適用されます。VMware のドライバーは Starter Pack のリリース通知にアップデートに関する案内(「ドライバー・サービスモジュールのアップデート」の章)が記載されていますので、ご参照のうえ適用してください。

Starter Pack は NEC のサポートサイトからダウンロードすることができます。Starter Pack を適用する場合は以下の URL を参照してください。

<https://www.support.nec.co.jp/>

NEC サポートポータル「NEC サポートポータル内検索」より、「Express5800 シリーズ Starter Pack」で検索

また、臨時にドライバー/ファームウェアがリリースされることもございますので、同サイトのサポート情報を確認して、必要に応じて適用してください。

■ ファームウェア更新について

- 本製品のファームウェアは Starter Pack Version S8.10-014.03 以降をご利用ください。
- ドライバー更新と併せてファームウェア更新をすることを推奨します。
- 本製品を追加導入する場合や保守部品と交換する場合にも、必要に応じ Starter Pack によりファームウェアの更新をしてください。
- ファームウェア更新はサーバーに搭載された同型カード/同シリーズチップ搭載カードに対して一斉に適用されます。
- 個別適用する場合は、NEC サポートポータル の Starter Pack 公開ページの「Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順」を参考にアップデートしてください。タイプ(Type)欄が「ファームウェア(Firmware)」となっている行のパッケージ欄が次のようになっているものが該当します。

「Intel Firmware Package For E610-IT4 Ethernet 1Gb 4-port BASE-T OCP3 Adapter」

本製品のファームウェアが Starter Pack 収録ファームウェアより新しい場合、更新の対象とはなりませんが、強制的に Starter Pack 収録のファームウェアバージョンにダウングレードさせることも可能です。(画面において、強制と書かれたスライドスイッチを有効にしてください)

- ファームウェアを更新後は本体装置の AC 電源を入れ直してください。



■ ドライバー更新について

- Windows Server の場合、ドライバーは Starter Pack Version S8.10-014.03 以降をご利用ください。
- 本製品は RHEL9.6 の OS 標準ドライバーでは動作しません。本製品を使用して「インストレーションガイド(Linux 編 RHEL9.6 版)」に記載の方法(“インストール(ISO)イメージファイルを別サーバー経由で参照”) でインストールする場合は、ドライバーディスクを使用してください。(USB フラッシュドライブからインストールする場合は、ドライバーディスクは不要です)

ドライバーディスクの使用方法は、Red Hat 社のドキュメントを参照してください。

8.5.4. 自動ドライバー更新の実行

https://docs.redhat.com/ja/documentation/red_hat_enterprise_linux/9/html/interactively_installing_rhel_from_installation_media/performing-an-automatic-driver-update_updating-drivers-during-installation

ドライバーディスクは以下の Web サイトから入手してください。

Linux ドライバ情報一覧

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140110016>

4. トラブルシューティング



- 本章では各事象に対する確認のため本製品の取り外し/取り付けを前提とした作業を記載しています。事前に必ず取扱注意事項をお読みください。
- 必要に応じて本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

4.1. システムが起動できない場合

カードの取り付けを確認してください

☐ **取り付けは正しいか**

本体装置のスロットに、カードがしっかりと差し込まれているか確認してください。

また、ラッチでカードがしっかりと固定されていることを確認してください。

上記に該当する場合は、取り付け直してください。

☐ **コネクタなど本体装置側に異常はないか**

本体装置のカードエッジコネクタを確認し、異物混入や部品破損がないか確認してください。

部品破損等ある場合は本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

☐ **本体装置の BIOS のバージョンは適切か**

BIOS のバージョンが適切か確認してください。

最新の BIOS が適用されていることを確認してください。

カードを確認してください

☐ **カードが破損していないか**

カード上の実装部品が破損していないか確認してください。

破損している場合は本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

☐ **カード上の実装部品に異物が入り込んでいないか**

カード上の実装部品に異物が入り込んでいないか確認してください。

混入している場合は本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

☐ **カードエッジコネクタに異物が付着していないか**

カードエッジコネクタに異物が付着していないか確認してください。

付着している場合は取り除いてください。

☐ **カードのファームウェアバージョンが適切か**

本体装置がサポートする Starter Pack に収録された SPP(Standard Program Package)を起動して確認してください。

カードを追加導入する場合や保守部品と交換する場合にも、SPP によりファームウェアを更新してからお使いください。

4.2. ネットワークに接続できない場合

ケーブルを確認してください

- **ケーブルラッチは正しくかかっているか**

ケーブルのラッチを確認してください。

ラッチがかかっていない場合は、ケーブルを取り付け直してください。

ケーブルのラッチが破損している場合は、異なるケーブルに交換してください。

- **ケーブルが折れ曲がったりしていないか**

ケーブルが極度に折れ曲がっていないか確認してください。

損傷がある場合は正常なケーブルに交換してください。

- **ケーブルは仕様を満たしているか**

本製品に接続可能なケーブルの仕様を満たしているか確認してください。

適合していない場合は、適合するケーブルを準備して接続してください。

「6.2.ケーブルについて」(21 ページ)を参照してください。

- **ケーブルの先端が破損または塵埃が付着していないか**

ケーブルの先端が破損していないか確認してください。また、先端に塵埃の付着や汚損がないことを確認してください。破損のある場合はケーブルを交換してください。塵埃の付着や汚損がある場合は、除去してください。

リンクパートナーを確認してください

- **リンクパートナー機器の設定は正しいか**

接続先のネットワーク機器(スイッチングハブ、ルータ等)の設定が適切か確認してください。

適切でない場合は見直してください。

以上の項目を確認したにもかかわらず、問題が解決しない場合は、本製品に何らかの故障が発生している可能性が考えられます。本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

5. 本製品の運用における注意事項

5.1. サポート機能に関する注意事項

- 保守について
ホットプラグ、ホットスワップ、ホットリムーブはサポートしていません。
- 非サポート機能について
以下の機能はサポートしていません。
 - ・ SR-IOV(Single Root I/O Virtualization)
 - ・ NPAR(Network Partitioning)
 - ・ RoCE(RDMA over Converged Ethernet)
 - ・ DPDK(Data Plane Development Kit)

5.2. BIOS/RBSU 設定に関する注意事項

「System Utilities > System Configuration」や「System Utilities > System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU)」での、本製品に関する設定メニューについては、NEC サポートポータル内の公開情報や LAN テクニカルガイド等での指示がない限り変更しないでください。

- ・ 本メニューの設定は設定項目名から想定される動作と異なる場合があります、通信速度などの設定を変更しても OS 上での設定に反映されるものではありません。
- ・ 「System Utilities > System Configuration」の本製品のメニューにおいて、[F7 Defaults]を選択して実行しないでください。誤って実施した場合、意図せず設定変更(Default)が行われ、運用に影響が出る可能性があります。

5.3. 表示に関する注意事項

- 「System Utilities > Firmware Information」上での表示について
本製品を搭載した場合、1 台あたり 2 つのデバイス「Intel(R) Ethernet Network Adapter E610-IT4 for OCP3.0」が表示されますが問題はありません。また、システム ROM バージョン 1.44 の場合、2 つのうち 1 つは前述の正しいデバイス名が表示されるのに対し、もう 1 つのデバイス名は「Unknown」と表示されますが、機能に影響はありません。なおシステム ROM バージョン 1.60 以降ではどちらも正しいデバイス名が表示されるようになります。
- iLO Web インターフェイスおよび IML(Integrated Management Log)の表示について
 1. iLO Web インターフェイスの表示
iLO Web インターフェイスの「Host > Hardware > Network」タブでは、本製品 1 台につき 2 つのデバイスが表示される仕様です。「ポート 1」と「ポート 2」、「ポート 3」と「ポート 4」、それぞれが 1 つのデバイスのように 2 分割された形で表示されます。また、このタブでは[Ethernet Interfaces]の情報が重複して表示される場合があります。本事象は表示上の問題であり、ネットワーク機能および通信動作への影響はありません。

<ポート番号の判別方法>

2 分割されて表示されたデバイスの詳細画面ではいずれも「ポート 1」、「ポート 2」と表示されます。そのため、表示内容だけでは物理ポート番号を判別できません。いずれのデバイスも「ポート 1」または「ポート 2」として表示されるため、実際のポート番号は MAC アドレスで判別してください。MAC アドレスの小さい順に、「ポート 1」、「ポート 2」となります。

2. Integrated Management Log(IML)の表示

IML に本製品に関するリンクアップ、ダウン等のログが登録される際、Windows Server 以外の OS では次のように登録されます。

- ・「ポート 1」→「ポート 1」
- ・「ポート 2」→「ポート 2」
- ・「ポート 3」→「ポート 1」
- ・「ポート 4」→「ポート 2」

Windows Server 以外の OS では、IML のみからポート番号を識別することができません。

<対象ポートを特定する方法>

対象ポートを特定する必要がある場合は、OS ログに記録されているネットワークインターフェイス名および MAC アドレスを確認してください。主な確認先は以下のとおりです。

OS	確認先
RHEL	/var/log/messages などのネットワークイベントログ
VMware ESX	/var/run/log/vmkernel.log、または/var/log/vmkernel.log などの VMkernel ログ

OS ログに出力されたポート名や MAC アドレスを iLO Web インターフェイス、または OS 上の情報と照合することで該当ポートを判別できます。

5.4. Wake On LAN 利用時の注意事項

Wake On LAN 利用時は、下記の 2 項を実施してください。実施しない場合、Wake On LAN を初めて実施しようとする、まれにマジックパケットを受けても本体装置が起動できない状態になる場合があります。

- ・ Wake On LAN を初めて使用する前に、一度本体装置の AC 電源のオフ/オンを行ってください。

(オフ/オンの間隔は 30 秒以上空けてください。)

- ・ Wake On LAN で起動するために、対向装置から送信するマジックパケットは、本体装置が DC オフしてから 30 秒以上経過後に送信してください。

もし、本体装置を Wake On LAN で起動できなくなった後、起動したい場合は、ほかのポートにマジックパケットを送信する、iLO Web インターフェイスから電源オンを行うなど別の手段で電源オンを行ってください。Wake On LAN を再度使用可能な状態にするには AC 電源のオフ/オンを行ってください。

6. 仕様

6.1. 製品仕様

N8104-226 1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)

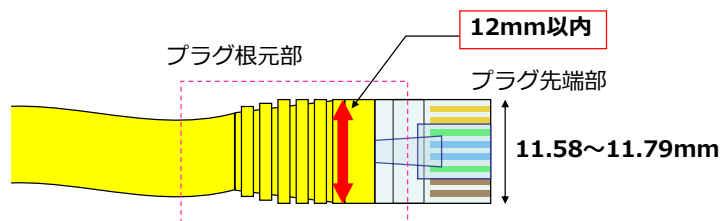
インターフェイス	内部	PCI Express® 4.0 準拠
データレート	PCI Express®	16GT/s、x4 レーン x2 リンク(論理レーン数 x8)
	LAN	100Mbps/1Gbps、全二重、4port
コネクタ	内部	PCI Express® 4.0 x8 via x4 x4 PCI Express® link subdivision (bifurcation)
	外部	RJ-45 コネクタ
コントローラ	Intel(R) Ethernet Controller E610-IAT2	
規格・形状	OCP 3.0 Design Specification, Small Form Factor	
重量	120g	
消費電力	最大	8.6W
環境条件	動作	温度 0～55℃
		湿度 10～90% ただし結露なきこと

6.2. ケーブルについて

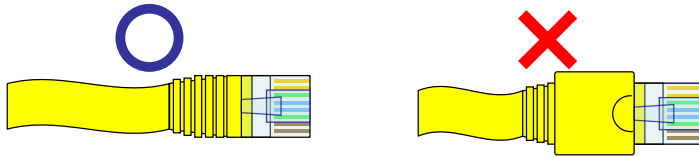
本製品の LAN ポートは 100BASE-TX/1000BASE-T に対応しています。

ネットワークに接続する際には、以下の仕様のケーブルをお使いください。

コネクタ	RJ-45/オス	
ケーブルタイプ	ツイストペアケーブル(UTP/STP)、8 芯 4 ペア	
規格	EIA/TIA 規格準拠	
	*使用される通信速度により要求されるケーブルの品質が異なります。	
	100BASE-TX	Cat. 5 以上
ケーブル長	1000BASE-T	Cat. 5e 以上
	最大 100m	



プラグ根元部の幅が「12mm以内」のものをお使いください



ブーツ付き(コネクタカバー付き)のケーブルはご使用になれませんのでご注意ください。上図を参照してケーブルをお選びください。

※ブーツ付きのケーブルが接続できる場合でも、接触不良やコネクタの破損の原因となりますのでおやめください。

N8104-226 1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)

ユーザーズガイド

2026 年 8 月 第 1 版

日本電気株式会社

東京都 港区 芝 5 丁目 7 番 1 号
TEL (03)3454-1111(大代表)

NEC Corporation

7-1 Shiba 5-Chome, Minato-Ku
Tokyo 108-8001, Japan